

歴史的街並みを活かしたまちづくりに関する住民意識調査
～大慈寺地区を対象として～

岩手大学 学生会員 ○高橋瑛子
岩手大学 学生会員 佐藤史弥

岩手大学 正会員 谷本真佑
岩手大学 正会員 南正昭

1 はじめに

近年、我が国の地方都市においては、歴史や風土といった地区の特徴を活かしたまちづくりが進められている。盛岡市大慈寺地区でも、盛岡町家や寺院群のある歴史的街並みを活かしたまちづくりが進められている。現在同地区では、住民の意見を活かしたまちづくりを進めるためワークショップ等が開催されている。本研究では、同地区内で実施した住民意識調査に基づき、大慈寺地区への関心や生活環境評価、将来イメージなど住民の意識を把握し、今後の計画の基礎資料とすることを目的とする。



図1：研究对象地域

2 研究方法

2-1 研究対象地域について

盛岡市大慈寺地区は、盛岡市の中心市街地東部に位置する。
(図1) 大慈寺地区は、江戸時代から北上川舟運の基点として
また、奥州街道と遠野街道、宮古街道が集まる交通の要衝とし
て栄えていた。盛岡の玄関である惣門を構え、大店が軒を連ね
繁栄してきた地区である。盛岡駅周辺や菜園地区の市街地形成
に伴い、商業地から住宅地へと変貌してきたが、寺院群、青龍
水や大慈清水、浜藤の酒蔵など多くの歴史的資源を有すると
ともに、盛岡町家が数多く残っており、市民主体の保存活用活動
が行われている地域である。

大慈寺地区では現在、地区内を横断する道路の整備事業が計画されている。歴史的街並みの活用を図りつつ事業を行うべくワークショップ等で住民の意見把握が行われている。

平成27年国勢調査によると大慈寺地区の住人は約4,500人、
およそ2,200世帯が居住している。

2 - 2 調査実施概要

本研究では、大慈寺地区の生活環境に関する 21 項目についての評価等をたずねるアンケートを平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月にかけて実施した。調査対象地域は大慈寺地区まちづくり計画に含まれる地域を中心とした大慈寺地区全域（図 1）であり、当該地域の中から無作為に抽出された 1,011 世帯にポストイングによるアンケート票の配布を行い、同封の返信用封筒により郵送回収する方法をとった。一世帯あたり 1 部の配布を行ったところ、227 部の有効回答が得られた。回答者属性は図

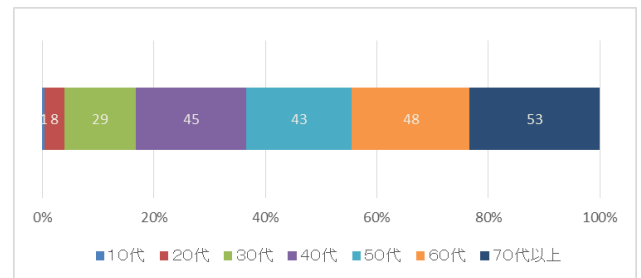


図2：回答者属性 (n=227)

2の通りであり、平成27年国勢調査とほぼ同じ年齢構成であることが確認された。

2 - 3 分析方法

本稿では、各生活環境評価項目と総合満足度の関連性について分析を行った。さらに自身を地域の一員と感じるか、大慈寺地区に将来性を感じるかの2項目に対する認識が生活環境評価と総合評価の関連性に与える影響も分析した。

調査項目については「満足（とても感じる）」「やや満足（やや感じる）」「どちらでもない」「やや不満（あまり感じない）」「不満（全く感じない）」の5段階で回答していただき、単純集計を行った。また、「満足（とても感じる）」「やや満足（やや感じる）」の2項目を満足（肯定）側回答、その他3項目を不満（否定）側回答として集約し、ロジスティック回帰分析を行った。

3 分析結果・考察

3 - 1 生活環境評価と総合満足度の回答傾向

生活環境評価の集計結果を図3に示す。住民の地域への満足度は自然環境、大気汚染や騒音の少なさ、治安、の順

キーワード：まちづくり，住民意識調査，歴史的街並み

連絡先：岩手大学工学部 岩手県盛岡市上田 4 丁目 3-5 TEL : 019-621-6453 FAX : 019-621-6460

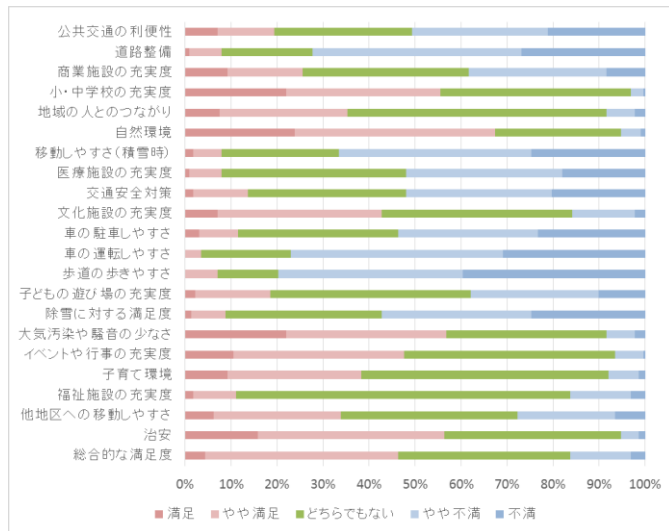


図3：大慈寺地区生活環境評価の単純集計結果

で特に高く、一方で車の運転しやすさ、歩道の歩きやすさといった項目で特に少ない傾向がみられた。特に少ない2項目は「満足」の回答が得られなかった。その他の道路に関する項目についても満足度は低く、大慈寺地区では道路交通に関する生活環境について課題があると考えられる。

全体的に、満足・やや満足で過半数を占めた項目は4項目とかなり少ないが、総合評価で満足できている人は約半数おり、回答者の価値観にばらつきがあると判断できる。

3 - 2 生活環境評価と総合満足度の関連性

表1は、総合的な満足度を従属変数に、各生活環境項目を独立変数としてロジスティック回帰分析を実施し得られた調整オッズ比である。本節では、全ての有効回答(n=227)を分析対象として得られた結果について述べる。

分析の結果、治安、商業施設の充実度において、99%または95%信頼区間で有意性が確認されたものの、それ以外の19項目には有意性が示されなかったことから、総合的な満足度に関連する生活環境項目は非常に少ないと判断できるとともに、生活環境に対する大慈寺地区の住民の評価は多様であると理解できる。

3 - 3 地域の一員感、将来性に対する認識の影響

表1の右側は、「地域の一員とを感じるか」「地域の将来性を感じるか」の2項目への回答状況で回答者を分類し、各々の回答者群を対象にロジスティック回帰分析を行った結果を示している。いずれの項目においても、総合満足度と有意な関連性が示された生活環境項目が異なる結果となり、地域への関わり方によって総合満足度に影響する生活環境項目に差のあることが確認された。

大慈寺地区の一員であると感じる回答者は商業施設の充実度、自然環境、治安で総合評価との有意な関連性が示され、大慈寺地区に将来性を感じる回答者は自然環境、交通

表1：生活環境評価と総合満足度評価の関連性

	全体	地域の一員とを感じるか		地域の将来性	
	(n=227)	感じる (n=124)	感じない (n=103)	感じる (n=99)	感じない (n=128)
公共交通の利便性	1.31	0.44	2.46	1.10	1.53
道路整備	6.63	1.2E+09	3.95	9.3E+09	12.25
商業施設の充実度	2.70	5.64	1.60	1.83	2.46
小中学校の充実度	0.87	1.25	0.28	0.87	1.10
地域の人のつながり	2.04	1.23	5.23	1.67	2.51
自然環境	2.14	4.94	2.03	11.34	1.56
積雪時の移動しやすさ	2.78	0.60	10.75	0.11	6.27
医療施設の充実	1.62	4.41	0.49	1.5E+08	0.80
交通安全対策	1.62	3.23	1.63	101.36	0.99
文化施設の充実度	1.37	2.56	0.39	7.85	0.75
駐車しやすさ	2.73	1.32	23.67	0.96	8.75
車の運転しやすさ	1.64	0.12	4.8E+08	126.15	1.05
歩道の歩きやすさ	1.89	0.39	7.67	0.00	10.62
子どもの遊び場の充実度	0.49	0.48	0.21	0.64	0.42
除雪への満足	1.95	12.08	3.34	24.65	2.91
大気汚染や騒音の少なさ	1.53	0.79	3.13	1.30	1.35
イベント・行事の充実	1.85	2.68	1.70	0.42	3.60
子育て環境	1.68	1.27	8.08	2.88	2.43
福祉施設の充実	2.76	4.43	1.73	4.59	1.86
他地区への移動しやすさ	2.26	3.16	2.22	0.78	4.26
治安	3.75	6.15	5.90	5.83	5.06
(定数項)	0.03	0.01	0.03	0.01	0.02

95% 信頼区間にて有意性が示された値

99% 信頼区間にて有意性が示された値

安全対策、文化施設の充実度、治安で総合評価との有意な関連性が示された。将来性を感じる回答者における、交通安全対策と総合満足度の関連は特に大きく、ここでも大慈寺地区の道路環境に対する問題意識の高さが確認できる。

4 終わりに

本研究では、大慈寺地区で歴史的街並みを活かしたまちづくりを進めるにあたっての住民の意識を、生活環境評価と地域に対する総合満足度を関連付けながら分析した。関連のある項目が見られたものの、全体的に総合満足度に影響する項目は少ないこと、地域との関わり方により総合満足度に影響する項目に差があることが確認され、地域内での意見、価値観の多様性が示唆される結果が得られた。

今後は個人属性による分析や地区外に居住する人へのアンケート調査結果の分析を進め、問題意識の高いと考えられる道路環境の整備を中心に、大慈寺地区の住民にとってより満足できるまちづくりについて検討を進める予定である。

参考文献

- 1) 盛岡市：大慈寺地区まちづくり計画
- 2) 谷本真佑, 中川稔希, 木島瑠依, 船木航：既存市街地の生活環境に関する住民意識調査, 平成26年度土木学会東北支部技術研究会講演概要集, Vol.52, CD-ROM, 2015.